

# JOYO BANK NEWS LETTER

2018年5月22日

## ロボットによる業務自動化（RPA）の導入について

常陽銀行（頭取 寺門 一義）は、このたび、生産性向上の実現に向けて、ロボットによる業務自動化取組み（RPA\*）を開始しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

RPAの導入にあたっては、2017年12月より実証実験を行い、このたび、その実効性が確認できたことから本格導入することとしました。

当面は、本部各部署における定型的な業務をRPAにて代替し、業務自動化を図ることで、約50業務/最大で年間約33,000時間の業務量を削減していきます。また、他の業務領域を含めた対象業務範囲の拡大も予定しており、更なる業務量削減を目指します。

当行は、今後とも、生産性向上取組みにより創出した時間や人員を活用して、お客さまへの提供サービス向上に努めてまいります。

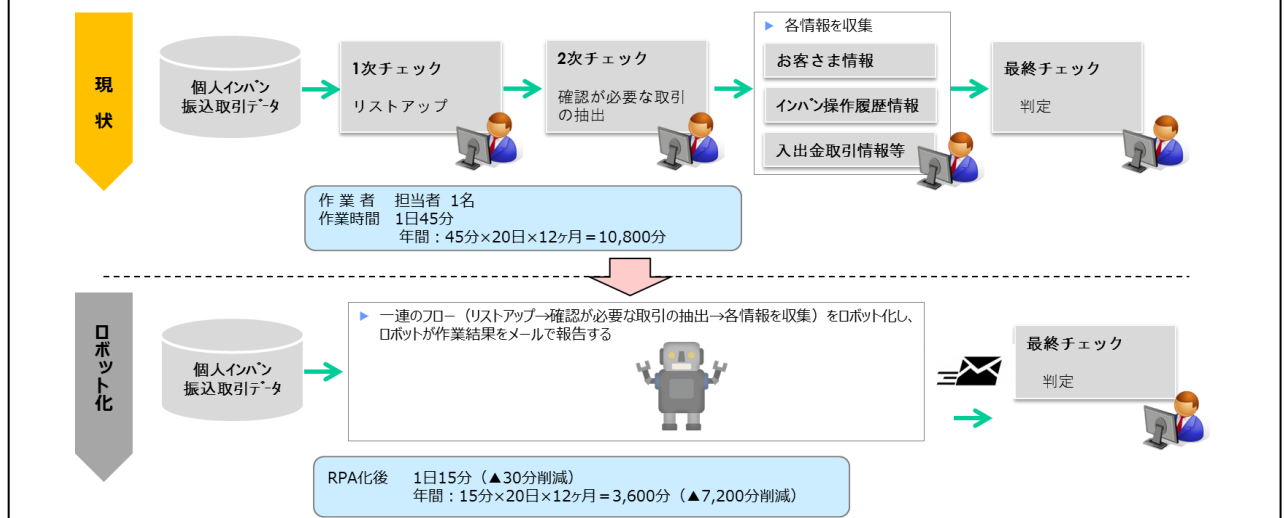
\*RPA（Robotic Process Automation）とは、データ入力や情報収集などの定型的な事務作業をソフトウェア（ロボット）に代行させ、業務を自動化・効率化するものです。

### 記

導入製品・サービス	UiPath RPA Platform (提供ベンダ：伊藤忠テクノソリューションズ株式会社)
対象業務	①単純で定型的な業務 ②高度な判断を必要としない業務 ③各種データの入力・集計・モニタリング業務 など 具体的な取組事例については下記を参照ください。

### <取組事例>個人インターネットバンキング振込取引のチェック業務

- 現状では、担当者が毎営業日、モニタリング業務を実施している。
- RPA化により、担当者の行内データ収集作業が不要となり、業務が大幅に削減。



以上



常陽銀行

MEBUKI  
めぶきフィナンシャルグループ

常陽銀行

〒310-0021 茨城県水戸市南町2-5-5

Tel. 029-231-2151 (代表) www.joyobank.co.jp